

第9回アンチキルケばか詰作品展

解説編

開 催： 平成18年 6月 1日

解答締切： 平成18年 6月25日

解答発表： 平成18年 7月 1日

たくぼんの解図日記

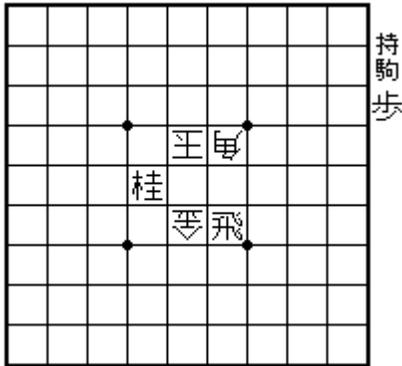
<http://takubon-tumeshougi.269g.net/>

アンチキルケばか詰入門

<http://www2.dokidoki.ne.jp/takuji/tumeshougi/AntiCirce.html>

たくぼん 作

アンチキルケばか詰 7手



【詰手順】

53桂成 55玉 45飛 同玉/51玉 52歩 41玉
42成桂 迄 7手詰

【短評】

橋本孝治「最初にこの図を見たとき、C→Vの立体曲詰かと思ったのですが…たくぼんさんも遂にカーブの優勝は諦めた!？」

☆間違いなく諦めました。う～悲しい。

若林「初形 C ですね。歩金の基本の収束なので飛捨ては見えやすかったです。」

小峰耕希「初形は「C」だと思うのですが、「V」どこ？」

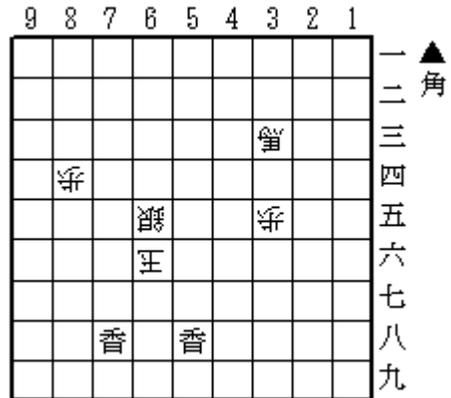
☆ まあ来年までに創ればいいから～～(来年?)

小峰耕希「前回送信後に聞いたのですが、もしかして“V”は初形を盤の横から眺めると浮かび上がってくる? それとも本局のように最下段に落ちないようにという反面教師? いずれ結果稿を見ないと真相はわかりそうにないですね。」

☆結果稿見ても分かりません。はあ～～

短1. たくぼん 作

アンチキルケばか詰 5手



【詰手順】

77角 75玉 44角 64玉 53角成 迄 5手詰

【評価】

自力正解者…7名

A…1、B…4、C…1 平均点…2.00(2位)

お気に入り投票 : 0

【解説(のようなもの)】

トップバッターとしてふさわしいかどうかは別にして、私の数合わせ作品です。

普通のばか詰のように見せるのが狙いですが、それがどうしたと言われれば言い返す言葉はありません。

(笑) 3手目馬を取らずにブレーキをかければ詰みます。

【短評】

橋本孝治「普通のように普通でない詰上り。普通のばか詰だとう余詰むか考えるのも一興です。B)」

☆普通のばか詰だと本作意以外に3つ解があります。2枚

の歩を取り除いて玉方 93 飛でも置けばばか詰 5 手の別の作品になります。(考えてみて下さい)

若林 「角のみが動いて間接北村手筋でとどめ。B」

隅の老人 B 「普通のばか詰と、どう違うかと考える。C」

小峰耕希 「この詰上りは作ろうと思った事がありました、銀打迄で考えていました。角の回転はたくぼん流？ B」

小五郎 「馬を取りの一步手前の 44 角がいい味。」

伊達 悠 「角の寸詰まりの空き王手。うまいものです。A」

北村太路 「またまたやられた！感じですよ(笑)。いつものごとく(?)復活しないのは勿論のこと、わざわざ銀の後ろにもぐりこみにいったり、最終手で 5一の利きを一時的になくしてみたり、と。たくぼんワールドは味がありますね。大体は解けないんですけども。B」

☆そういえば私の作品は復活しないのが多い気がする。あまりにもマニアックすぎるか・・・

短2. 若林 作

アンチキルケばか詰 7手

										9	8	7	6	5	4	3	2	1		
																桂			一	▲金銀桂
															銀	銀			二	
																			三	
																	王		四	
															馬				五	
																			六	
																			七	
																			八	
																		香	九	

【詰手順】

16桂 23玉 33金 12玉 23銀 同桂/21桂

24桂 迄 7手詰

【評価】

自力正解者・・・6名

A・・・0、B・・・4、C・・・1 平均点・・・1.80(3位)

お気に入り投票 : 0

【解説(のよなもの)】

初手 1 六桂と打てば何とはなしに両王手で詰上げたい衝動に駆られます。などと言っていると本当に両王手で詰め上がるんですね。3三金を決めてからの舞台作りは見事な手順です。アンチキルケでは2三銀のような捨て駒は余り見かけないですからね。

解く方から言えば両王手に決め打ちすれば難しくはないが、そうでなければ意外と紛れが多そうです。皆さんどうでしたか？

【短評】

橋本孝治 「非接触型両王手はアンチキルケの定番ですが、退路を捨駒で塞ぐのはうまい工夫だと思います。B」
若林 「やはりもう少し逆算する腕が欲しいですね。B」
☆復活で 19 香が出現する逆算はかなり余詰との戦いになりそうです。

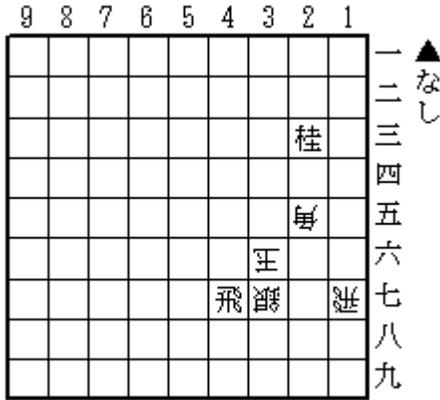
隅の老人 B 「桂が戻って、両王手。決まりましたね。C」
小峰耕希 「とにかく両王手で詰むと決め付けて解きました。角・桂どちらを復元させる(=壁駒にする)かが考え所。 B」

小五郎 「詰上り(両王手)が予想できたので解けました。」

伊達 悠 「妙に解きにくかったです。でも桂馬を2一に持ってくることを考えたら一目。B。」

短3. 若林 作

アンチキルケばか詰 9手



【詰手順】

46飛 35玉 45飛 26玉 25飛/28飛 27飛生
15角 17玉 18飛 迄 9手詰

【評価】

自力正解者…5名
A…1、B…2、C…2 平均点…1.80(3位)
お気に入り投票 : 1

【解説(のようなもの)】

最近5一を抑える1五角のような手は余り見ないですが2七飛生と合わせて終盤はいい感じです。序も何とはなしにふわっとした応酬ですが迷うのは4手目24か26かぐらいなので難しくはなかったと思います。

【短評】

橋本孝治「下段に落とす紛れに少し惑わされました。非限定が生じない手を先に読めば易しい。B」
若林「移動合いだけなら別にばか詰でも良いですね。アンチキルケである意味がないし、手順も物足りない。C」

隅の老人 B「解けてから、23桂を考える。成る程、余

詰防止策でした。B」

☆2三桂がないと4手目2四玉以下余詰みますし、2三の駒が歩だともう1解なかなか面白い順が出てしまいます。(考えてみて下さい)

小峰耕希「飛不成は好感触ですが、他の手が今一かな。

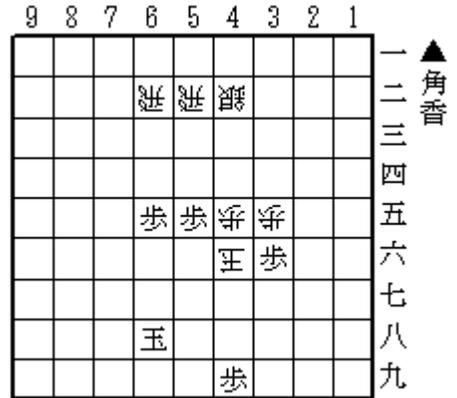
C」

伊達 悠「詰将棋には"良い手が一手あれば良い"という言葉がありますが、フェアリーの場合は如何に?A」

☆なかなか1つじゃ皆さん許してくれませぬね

短4. もず 作

アンチキルケばか詰 11手



【詰手順】

19角 56玉 58香 57角 同王/59九王 66玉
99角 55玉/51玉 52香生 61玉 71飛
迄 11手詰

【評価】

自力正解者…6名
A…6、B…0、C…0 平均点…3.00(1位)
お気に入り投票 : 5

【解説(のようなもの)】

短編では多分作品展初の3点満点オールAです。
3手目に打った香で52の飛車を取りたいのですが、普通に攻めれば19や99に香が復活しまい王手で取ることが出来ません。じゃあ11と99を埋めればという・・・そんなこと出きるんかいなと思うのが普通ですが作者はやってしまいます。途中角の入手方法も香の限定打から味がありますし、1点の曇りのない出来栄えといえるでしょう。

【短評】

橋本孝治「もず氏にしては易しいですが、攻方の両隅を埋める構想を無理なく実現しているのでやはりさすがと言うべきでしょう。A」

☆さすがという言葉がぴったりです

若林「しばし手が止まる。4筋で駒を入手しても足りない。王で駒の入手が出来ることに気づいたら綺麗に5筋が通って解決。99角が気持ちのいい一手。A」

隅の老人B「3度の限定打を含めて、手順総てが妙手。解けて嬉しくなる作品。A」

☆隅の老人BさんのA評価は稀です。これだけで本作が傑作であることが分かります

小峰耕希「このような狙い明快で緩みが無い手順は気分が良い！9手目52香不成は史上最も爽快な駒取りかもと思ってしまいます。A」

☆これだけのお膳立てをしてもらっての駒取りですからね・・・

伊達 悠「小峰さんのあの作品を彷彿とさせる作品。香車を戻さないための角の限定打2回も見事。A」

北村太路「いやー、角2枚で19、99と塞ぎますか。もずさんにしては駒配置が多いので、きっと余詰防ぎが大変だったのでしょうか。第6回の中2も両翼塞ぎが

目的（送りはオマケ）だったのですが、角でもできるとは思いませんでした。5九復活のための5八香限定あたりが駒数を減らせたコツかもしれません。収束もいいですね。この作品は超素晴らしい。A」
.....

【総評】

橋本孝治「今回の作品展は作品数も作者数も少ないのがちょっと残念ですが、フェアリー愛好家が同じルールばかりやっているというのも不自然ですし、これも自然の成り行きでしょうね。今回のお気に入りには“短4.もず作”です。」

若林「お気に入り：短4。流石です。」

隅の老人B「お気に入り→短3。 作品としては、短4が上だが、好みは別。ここが、老人Bの皮肉な処です。パラ誌のヤングの首位予想も、これが原因でハズレ専門。」

☆私もはずれ専門です

小峰耕希「当然首位は④もず作です。事によると満票かも知れませんね。」

☆ところがどっこい・・・

伊達 悠「お気に入り作品、の前に・・・・・・全部詰上がりの時に5一に効いていないことにびっくり！お気に入り作品；どれも素晴らしくて選びにくいのですが・・・・・・4番にします。毎回悩ませてくれるその作図力には脱帽します。」

北村太路「お気に入り：短4ですが、短1も結構好き」

【解答成績】

解答者名	1	2	3	4
橋本孝治	○	○	○	○
若林	○	○	○	○
隅の老人 B	○	○	○	○
小峰耕希				○
小五郎	○	○		
伊達 悠	○	○	○	○
北村太路	○			○

解答者数 7名 うち全題自力正解者 5名
 全題自力正解者は5名と前回より1名増。

【お気に入り投票・結果】

今回のお気に入り投票は投票総数・・・5

順位	No.	作者名	投票	無	A	B	C	平均点
1	4	もず	5	1	6	0	0	3.00
2	3	若林	1	2	1	2	2	1.80
3	1	たくぼん	0	0	1	4	1	2.00
4	2	若林	0	1	0	4	1	1.80

※ 順位はお気に入りポイント順(同点の場合は平均点上位順)

☆ 文句なしにお気に入り&平均点でもず作がトップ
 でした。

作品展・中編の部

中1. 神無七郎 作

アンチキルケばか詰 39手

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
										▲なし
	飛	飛	飛	飛	飛	飛	飛	飛	飛	一
	と	と	と	と	と	と	と	と	玉	二
	飛									三
	玉			玉						四
			桂	桂			桂	桂		五
										六
										七
										八
										九

【詰手順】

24と 同歩/23歩 15飛 24玉 34と 同歩/33歩
 25飛 34玉 44と 同歩/43歩 35飛 44玉
 54と 同歩/53歩 45飛 54玉 64と 同歩/63歩
 55飛 64玉 74と 同歩/73歩 65飛 74玉
 84と 同歩/83歩 75飛 84玉 74飛 95玉
 94飛 86玉 84飛 85飛 同桂/89桂 76玉
 86飛打 65玉 77桂 迄 39手詰

【投稿時のコメント】

神無一族の氾濫用の予備作として、投稿を保留していたものですが、別の作を出すことになったので、無事こちらに回すことができました。入門用に作ったものなので、収束以外は一本道です。

【評価】

自力正解者・・・5名
 A・・・3、B・・・2、C・・・0 平均点・・・2.60

【解説(のようなもの)】

これは解説は不要でしょう。七郎さんお得意の送り趣向です。アンチキルケ特有の居食いを絡めての趣向の作品は今までは余り見当たりません。(連合物は除いて)

私もこういった作品が創りたいと思って入るのですが、特殊な才能がいるようで全然出来ません。やはり鑑賞する方が楽しいですから・・・いいんですけどね(負け惜しみ)

ただ収束は見えにくかったようで何名かの方が無解となりました。

【短評】

橋本孝治「B」

若林「マジックを見ているような手順。収束の還元桂だけで充分作品になっているのに、その手前の居食いと金捨て7枚！ お見事です。A++。」

☆7枚は玉方居食いの記録でしょうか。

隅の老人 B「楽しい食事その後片づけが大変。料理は家内で、食器洗いは私。収束で苦勞して、おかしなことを考える。B」

☆私が食器を洗おうとすると義母が”そんなことは男がすることではない！”と怒られます。う～む

小峰耕希「七郎さんの趣向作という事でそれなりに時間を割いたのですが、収束が見えず無解。31 手目 94 飛ではなく 75 飛ばかり考えてました。(FM 解答)」

小五郎「隣の駒箱からそっと一枚桂馬を借りてくれば 79 (99) 桂までの 39 手で詰むのですが……。解けそうで解けない、このパターンが一番気になります。」

☆悔しさが伝わってきますね

伊達 悠「趣向は神無七郎さんにしては簡単。腕の見せ所は収束。飛車でサンドイッチをして桂馬でつめあ

がる形は以前の作品展で出てきた時に C 評をしました。この場合では全く非なるもの。下段の方の飛車を合い駒で発生させ、さらに還元桂という史上初めてではないかと思われる詰上がりは流石神無七郎さん！と思わせられます。スーパーA。」

北村太路「舞台の作り方がうまいです。収束もちょっと悩みました。A」

.....

【総評】

若林「お気に入り投票、と言う概念はないですが素晴らしいです。」

隅の老人 B「お気に入り→中1 これしかないが、幾つかあっても、たぶん、これ。」

伊達 悠「お気に入りも何も、一題だけですが.....」

【解答成績】

正解者名：

橋本孝治、若林、隅の老人 B、伊達悠、北村太路

解答者数 7名 うち全題自力正解者 5名

☆全題自力正解者は5名でした。収束部分が解けたかどうか勝負でした。

順位表

順位	No.	作者名	投票	無	A	B	C	平均点
1	1	神無七郎	-	2	3	2	0	2.60

※ 順位はお気に入りポイント順

他の作品があっても多分トップでしょうね。

アンデパンダンの部

ア1. 小峰耕希 作

アンチキルケ打歩ばか詰 7手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
玉									一 ▲
			香	香	香				二 飛
			杏						三
			笛						四
									五
	と								六
	手								七
王									八
									九

【命名】「奇怪な“T”」

【ルール注意】

必ず最後は打歩で詰ますアンチキルケばか詰です

【投稿時の作者コメント】

初めて自作に命名してみました。但しこれは本局が気に入っているからではなく、出来の悪さをごまかすための命名なので、我ながら余り感心出来ません。

【詰手順】

59飛 98玉 52成香/99成香 97玉 17飛 27馬
98歩 迄 7手詰

【解説(のようなもの)】

初手5九飛と打っても5一までに3つも邪魔駒があっては利きが通らない感じですが、手順を追っていけば分かるとおり5手目1七飛の盤上この一手で2七馬を実現し見事に5一まで利きが通りました。最後9八歩は同成桂と取られそうですが取った瞬間成桂が8一に復活し逆王手となるため(打歩でない詰上がりなので禁手)取る事は出来ません。よって詰みです。たと

えば1七飛を2七に打てば同馬/2二馬となり馬筋がずれる為、最後98歩を同成桂と取っての復活王手には同王と応じられ不詰です。よく練ってあり作者らしさが十分に発揮された好作です。

命名については何と言ってよいものか……

【短評】

橋本孝治「打歩絡みの法則問題ですが、ルールを徹底活用した見応えのある応酬です。53杏の配置は好みに分かれると思いますが、私は生香派。」

☆私も生派です。ビールも生派。

若林「これで42や62杏が正解なら楽しいのだけれど、さて実現はできるでしょうか。」

☆意味付けを考えるのが難解です

隅の老人 B「ルールをよーく読まないで解けない。2度の飛の限定打が光る。」

小峰耕希「見た目だけでばれてしまいそうですが、先月のア④吉川作を僕なりに改作してみた物です。一応は改良になっているか、改悪で終わっているかは、解答者のコメントを見ないと何とも言えませんが。5手目の飛打を27にすると、以下同馬/22となって詰まなくなるのが少し気に入っています。命名ですが、初形中央に偶然“T”とも読める形が出現したのがきっかけで、その“T”の見た目・組成(特に杏)が我ながら奇異に思ったのが1つ。もう1つは、“詰上り”或いは“手順”の頭文字“T”という意味があります。今でこそ僕もフェアリーばかりやっていますが、もし1年前にこんなものを見せられたら、多分付いて行けなくてフェアリーを敬遠したろうなと感じたので。ただ命名や狙いは説明しなくても意味がわかるのが望ましい訳で、そういう意味で本局がどうなのかは不安な所で

す。それでも投稿したのは、自分の名前と作品が載り、解答者から批評されるのが楽しいからです。」

小五郎「先月も打歩双玉問題があったので、最終手の打歩を成桂で取れない詰上りは予想できたのですが、5手目！6手目！の応酬にはびっくりしました。奇怪なTとは・・・。」

☆光る応酬が作品を締めました。

伊達 悠「小峰さんの打ち歩はあの筋なんですね。覚えておきます。ってあと一回しかない？」

北村太路「法則系であれば前回の吉川さんのものの方が良い。不恰好な5筋の命名してまで取り繕うほどのものでもない。」

☆ふふふなかなか厳しいですね。

ア2. 伊達 悠 作

アンチキルケ打歩ばか詰 13手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
	桂		金		王		遊	香	▲香二
						皇	香		一
		皇				香	桂	香	二
									三
				香					四
									五
						遊			六
									七
									八
									九

【ルール注意】 かならず最後は打歩で詰ますアンチキルケばか詰です

【投稿時のコメント】

13手ですが、FMでまともに解いていると10分以上かかりました。持ち駒に歩を入れなかったのが、満足のいく一品です。いつもどおり打ち歩ですが(そろそろ普通のアンチキ

ルケばか詰にしたいんですけどね・・・)。駒数ももう少し減らしたいですね。できれば。

【詰手順】

47香 46桂 45香 44銀 52金 32玉

33桂生/29桂 35銀/31銀 38香 37歩

同桂/29桂 38桂成/21成桂 33歩 迄 13手詰

【解説(のようなもの)】

作者以外の正解者はビック3のみという難物。私もしばらく考えましたが途中で答えを見てしまいました。一連のシリーズを頭に入れておけばある程度の筋は浮かぶかもしれませんが、桂と銀を合駒で発生させてその後の手順で共に復活させて玉の退路を封鎖するという構想は見事というよりありません。途中攻方桂を復活させてその桂で歩を奪う手順や桂に取らせる位置に限定で打つ香など恐れ入る順で全ての手が好手の大傑作と言っていいでしょう。今後の作者に目が離せません。(たまには打歩以外も創りなさい)

多分 TOPIXで上位に来る作品ではないでしょうか。

【短評】

橋本孝治「2枚の合駒を移動して逃げ道を封鎖する見事な手順。一連のシリーズで実験を積み重ねてきた成果が、ここに示されたと言えるでしょう。」

若林「これは傑作ですね。直ぐに動かない限定合2連打、戻った桂による居食い、渡した香での受方アンチキルケ、緩みのない手順で素晴らしいと思います。」

隅の老人 B「難しい。合駒選びに限定打、その他も妙手で一杯。あの手、この手の思案の末に(何処かで聞いた?)、終日詰まず。気が付けば、三日も経っていました。」

☆ビック3が大絶賛です。

小峰耕希「f mで解かせてみたら、

M9=30MB,/M10=20MB の設定で、解析時間 97 秒、検出局面数 5229829。これを見て解けなかったのも納得してしまいました。そして凄いののは難度や形だけではなく、手順も全て(手)が素晴らしい。因みに僕は、2手目の桂合以降が全然見えませんでした。同世代作家の作品にはとても刺激を受けます。是非見習わなければ！(FM 使用)」

小五郎「ちょっと考えてみたのですが、歩の入手方法がわかりませんでした。残念～。」

伊達 悠「4手目までの香打～合駒で、4三の地点だけが空いているのにちょっと「アレ？」と思ったかも。」
☆たぶんあれっと思った人はいなかったことでしょう。
北村太路「これはお見事！アンチキルケを存分に生かして、場所、駒種、成生を限定してますね。打歩とかつけないと余詰防ぎが大変でしょうから、ここまで狙うなら打歩もありかな。三香、さらには四香として駒柱を実現して欲しい。(超無責任発言)(f m使用)」

☆これは厳しそうな宿題です

ア3. 北村太路 作

アンチキルケばか詰 9手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									▲ 香
									二
									三
									四
						香	桂		五
					桂				六
					桂			王	七
									八
									九

【詰手順】

19香 18角 同香/19香 18角 同香/19香 26玉
15角 36玉 45角 迄 9手詰

【解説(のようなもの)】

2番までがハードだったのでここに来てほっとした方も多かったことでしょう。ここからは北村さんの連合シリーズ物です。本号の3作で連合シリーズもほぼ完結です。

異なる駒を合駒しようとするとは非限定が発生しますので同種の駒を合駒することになります。本作は角の連合いです。角は2枚しかありませんので考えやすかったですよ。

【短評】

橋本孝治「角の連合い。連合物を始めた北村さんの、シリーズコンプリート第1弾。」

若林「角版ですね。配置も綺麗にまとまっていて綺麗です。」

隅の老人 B「19香は打出の小槌、なんでも出てくるが、そこが難しい。」

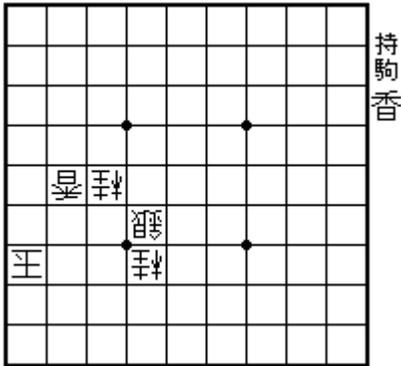
小峰耕希「ああ、なるほど、角の連合でしたか。解図中は15角で51を抑えられる事に何故かなかなか気付かず。」

小五郎「合駒の順番をどうやって限定するのかと考えたのですが、なるほど、同種の駒なんですね。」

伊達 悠「連続合駒シリーズかな？大当たりでした。まずは角。」

北村太路「ただ実現しただけ"角"版。角版は別の手で作って、この図の左右逆にして8五を飛→香にして2解問題にするんだったなあ。1解目は実質変わらないのでもう出せませんが。」

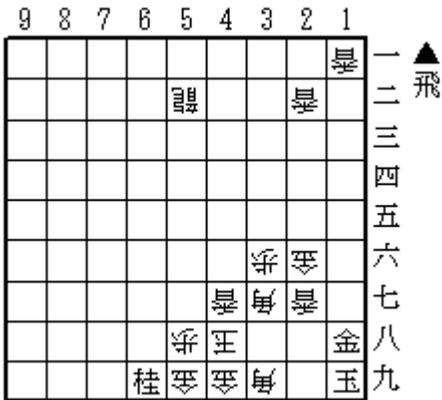
北村太路作 アンチキルケばか詰 9手 (2解)



☆これは面白い。2解問題にすればよかったですね。
こっそり替えておきましょうか？

ア4. 北村太路 作

アンチキルケばか詰 17手



【詰手順】

28飛 38銀 同飛/28飛 38銀 同飛/28飛 38銀
同飛/28飛 38銀 同飛/28飛 同香生
57銀 同玉/51玉 62銀 41玉 32銀 42玉
33銀 迄 17手詰

【解説(のよなもの)】

さてさてお次は銀の場合です。初形で先手王に王手
が掛かっていますから28飛は当然です。後手も銀し
か合駒出来ません。4枚取ったところで収束です。玉
を5一に戻して銀の3連打で詰み上がりです。やや手
順は野暮ったい感じですがそれはいいっこないですよ。

【短評】

橋本孝治「シリーズコンプリート第2弾、銀の連合い。
復活防止の11香や22香が少し野暮ったい。」
若林「今度は4銀合。アンデパンダンらしい楽しい世
界です。」

☆そういうことです。

隅の老人B「ア3と同工異曲、この手筋にも馴れました。」

小峰耕希「銀4連合だとすぐにわかりましたが、収束
がちょっと難しかった。でも僕にとって一番印象に残
ったのは香不成でした。」

小五郎「一見駒数が多くて難しそうに見えるの
ですが・・・むしろ易しくするための配置なのでしょうね？」

☆北村さんは誰かさんと違ってやさしい方ですから。
伊達 悠「何故6九桂があるのか？すぐに納得。とい
うわけでこれは銀合でした。」

北村太路「ただ実現しただけ”銀”版。せめて玉を詰
める攻撃方法にアンチキルケを入れるべきだった。ち
よっと酷すぎる。」

☆収束はもう一工夫あってもよかったかもしれません

【詰手順】

28飛 38香 同飛/28飛 38香 同飛/28飛 38香
同飛/28飛 38香 同飛/28飛 47玉 48香 56玉
57香 65玉 66香 74玉 75香 83玉 73香成 93玉
83成香 94玉 93成香 95玉 94成香 85玉
95成香 74玉 85成香 73玉 63香成 同金/61金
74成香 迄 33 手詰

【解説(のようなもの)】

一つ飛びましたがシリーズ最後香の連合です。香が
一番取った後の手順構築が難しそうですが奪った香を
見事に連打し最後は見事に1回転して詰み上がり。3
1手目6三香成の好手が光ります。作者はひどい手順
と言っていますが、なかなかだと思えますよ。
これで連合い物は出揃いましたが、残るは順非限定有
の7種合ですね。検討の方法を太郎さん教えて下さい
ませ。

【短評】

橋本孝治「香の連合いで、遂にシリーズコンプリート。
収束で一工夫を要するところなど、サービス精神も旺盛
です。」

☆63香成で締まりました。

若林「これは良いですね。香を入手した後の手順も楽
しいです。土台付きではありますが綺麗なオーロラが
発生しました。」

隅の老人 B「今度は香合ですか、流石に少し食傷気味。
奪った香の使い方が、作者の腕の見せ処ですね。」

小峰耕希「こちらは香4連合だとすぐに気付きましたが、
63香成が盲点。主に下段にて成香で玉を追っかけ
回す順を読んでいました。」

小五郎「初形王手の状態、初手〜導かれるように駒を

進めることができました。玉を下段へ落とさないのが
意外でした。」

伊達 悠「香合はすぐに見えましたが、収束の杏2枚
での追撃が以外に難解でした。」

北村太路「ただ実現しただけ"香"版。打ちっぱなしは
方向が1方向なので、さすがにどうかと思ってちょっ
と手をつけてみたが、今見るとこの手順はどうかと思
います。こんなひどい手順だったらいらないなあ。」

☆いえいえ全然 Ok です。ですが、もっといいのが出
来ましたらまた投稿下さい

.....

【全題正解者】

橋本孝治、若林、隅の老人 B、伊達悠
以上4名

【解答成績】

解答者名	1	2	3	4	5	6
橋本孝治	○	○	○	○	○	○
若林	○	○	○	○	○	○
隅の老人 B	○	○	○	○	○	○
小峰耕希	○	△	○	○	○	○
小五郎	○		○	○	○	○
伊達 悠	○	○	○	○	○	○
北村太路	○	△	○	○	○	○

△はFM使用解答

解答者数 7名 うち全題自力正解者 4名

☆2番伊達作が難解だったため全解者は4名と少な目
でした。

.....

【総評】

橋本孝治 (6/2 23:01)

「今回はアンデパンダンが充実した作品展でした。長編の部がないのは淋しいですが、これは“自分で作れ”ということなのでしょうねえ。」

☆うむうむよくわかってらっしゃる(笑) 本当にお願ひします。とはいっても次回はいつやるかわからない第11回作品展になりますが……。

若林 (6/3 1:22)

「次回で一旦幕、ということで結果稿が出る頃には寂しくなりますね。さて、最後に良い作品ができるか……は何とも言えませんが……皆勤だけはしたいと思ひます。」

☆若林さんは見事に皆勤です。お世話になりました。

隅の老人 B (6/16 19:35)

「暇に任せて全題で半月以上は考えた。創り手は大勢、私は一人、勝てる(解ける)筈がない。それでも時間はタツプリあるし、やればなんとかなるものだ。ああ疲れた。充分堪能、そして休憩。」

☆いえいえ半月で解けるのだから創り手側の完敗ですよ。

小峰耕希 (6/24 6:44)

「今月は久しぶり(第3回以来?)に短編を全解出来ました♪この作品展の常時開催は次回で終るようですが、これからも臨時開催があれば解答したいですね。でもまずは開かせるために自分でも創作しないといけないですが。因みに次回も打歩で登場予定。酷評も歓迎ですので、皆さん宜しくお願ひ致します。今後の企画について。バラに合わせて年末にフェアリー短コンを開催するなんてどうでしょう? もっともフェアリ

ーだと偶数手数の年も必要になりそうですし、本当にこの企画が面白いかどうかはわかりませんが、普通ルールよりは僕が出られる(又は見られる物を作る)可能性が高いので、ご検討願ひます。」

☆作品が集まり次第11回は開催したいと思ひます。他の企画は目下検討中です。

小五郎 (6/24 23:34)

「解けたものだけ解答送ります。よろしくお願ひします。」

☆表紙詰将棋の解答送りましたよ。フェアリー作の創作もよろしく。

伊達 悠 (6/25 8:23)

「今回はFMを使わずに全題解くことができました。中々気持ちのいいものです。」

☆学校との両立大変でしょうががながれ〜。ブログも毎日更新するように……

北村太路 (6/25 13:45)

「自分のはできが悪すぎました。他の方が楽しめるものが多かったので少し救われたかな。」

☆皆さんは逆のことを言っておられますよ。北村さんの作品群には楽しませていただきました。